

貴金属ETF証拠金取引

WEEKLY REPORT

2025/11/10号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一

取引所株価指数証拠金取引

くりっく株365



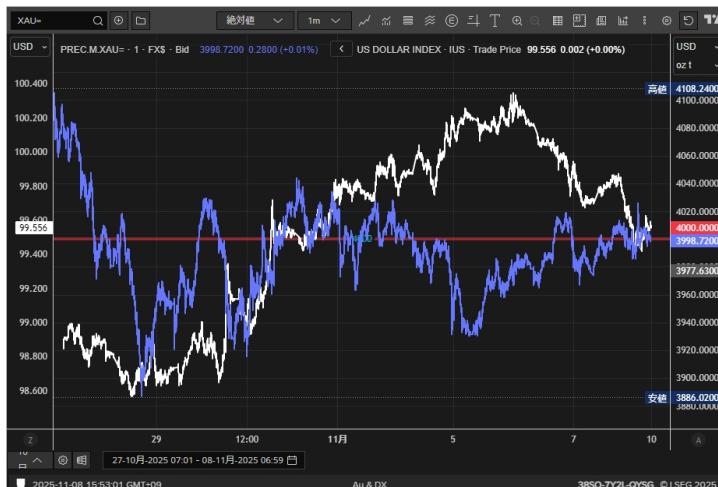
【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド4000ドルを挟んだ動き続く

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドが急落後のレンジに入って二週間が過ぎましたが、続いています。まさに4000ドルを中心とした動きになっており、これはしばらくは続きそうです。先週のこのレポートで4000ドルを中心として上下100ドルくらいのレンジになるのではと書きましたが、実際には高値4030ドル、安値3928ドルと全体のレンジが100ドルとなり4000ドルをまたいでの動きが続きました。週初と週末がほぼ4000ドルとこのレンジの動きを象徴するような一週間でした。まだまだしばらくはこのレンジでの弱気と強気の綱引きが続きそうな印象です。短期筋のポジション調整と4000ドル超えでのショートセリングと下値3900ドル近辺では買い増しをする長期投資家（筆者はこれ）のインタレストがこのレンジの上下にどっしりと構えているのだと思います。米政府の閉鎖がまだ続いている（史上最長）、米国の経済指標、そしてCFTCの先物ポジションも全く出ない中、なかなか大胆な取引はできない状況です。長期的投資家としては、逆にやはり下げたところではポートフォリオのゴールド及び他の貴金属のポジションを増やしていくチャンスと考えて、このレンジの下限3900ドルに近づいてきたら拾っていく、でいいのではないかと思います。これまで一方的な相場の上げで買えなかった分、今は確実に拾っていくときでしょう。4月末～8月末の3300ドル～3400ドルのレンジの時よりもは大分高くなりましたが。欲を言えばもう少し深い調整が来て欲しいのですが、この現在のレンジでの底堅さを見ていると3900ドルを割って大きく下げるのは可能性がゼロではないにしても難しく見えます。この下げで上海ゴールドが大きなディスカウントからロンドンゴールドに対してほぼパー、もしくはプレミアムへと変化しており、中国の投資家も買いに回ってきてているようです。やはりこのレンジ取引の間に極力拾っておいた方が長期的には得策だと思います。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

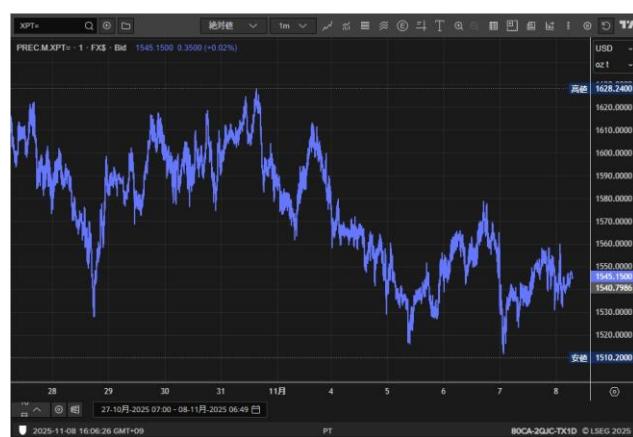
「シルバーの現状」

シルバーも一進一退でしたが、米国がシルバーとカパーをクリティカルミネラルに指定したい旨の発表があり、それによって若干堅調となりました。シルバーもカパーも産業的、軍事的にも重要なメタルであり、特に産業用では欠くことのできないものということで、需給がタイトなこともあります。やはりこれらも将来的には価格の上昇が必至でしょう。

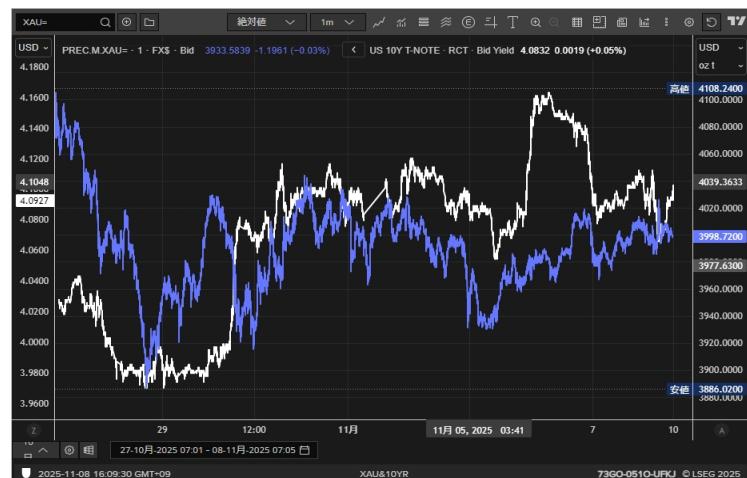


「プラチナの現状」

プラチナは今週も頭の重たい展開でした。ゴールドと同じように1600ドル以上の売り、1500ドル近くでの買いがせめぎ合っているというところでしょう。中国の広州先物取引所がもう何年にもわたって計画していたプラチナとパラジウムの先物取引がようやく開始されるというニュースがありました。今後に期待したいところです。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】<http://jbma.net>

【E-mail】info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のブリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

